

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-新築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)智積院会館計画	階数	地上3F
建設地	京都市東山区東大路七条下る東瓦町964番地	構造	S造
用途地域	都市計画区域、準防火地域、眺望景観保全地域	平均居住人員	115 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年12月17日
敷地面積	8,351.41 m ²	作成者	一級建築事務所 株式会社東洋設計事務所 松田政也
建築面積	1,429.02 m ²	確認日	2018年12月17日
延床面積	2,956.02 m ²	確認者	一級建築事務所 株式会社東洋設計事務所 松田政也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	植栽を多く取り入れることで周辺の景観を損なわず、利用者にとっても快適な環境を創出	その他 特になし
Q1 室内環境	内装材は全面的にF☆☆☆☆を使用	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内の緑化により、緑量の確保および暑熱環境の緩和に努めている
LR1 エネルギー	太陽光パネルの設置による創エネ	LR3 敷地外環境 光害チェックリストの配慮事項の過半を満たすよう計画している
Q2 サービス性能	内装仕上材は耐用年数の長いものを使用	
LR2 資源・マテリアル	グリーン購入法適合商品を積極的に採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される